

西胆振地域定住自立圏形成方策調査報告書（概要版）

1. 作成の目的

新たな広域連携の手法である定住自立圏構想について、平成20年度西いぶり広域連合において策定した「西胆振地域づくりビジョン」を参考に、連携事業の可能性とまちづくりの効果等を検討し、西胆振地域における定住自立圏形成の方向付けを図る資料とするため、本報告書を作成しました。

2. 作成の経過

西いぶり広域連合、広域連合構成市町及び胆振支庁担当職員による検討会議を設置し、昨年11月に報告書骨格案を作成するとともに、12月に行なわれた室蘭市の中心市宣言後においては、連携を想定する取組に係る部会を開催し、内容の取りまとめを行ないました。

3. 定住自立圏構想の概要

定住自立圏は、中心市と周辺市町が、自らの意思で1対1の協定を締結することで形成される圏域です。

定住自立圏構想は、中心市の機能と周辺市町の機能が、協定によって有機的に連携し、「定住」のために必要な諸機能を総体として確保するとともに、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培い、全体として魅力あふれる地域を形成していくことを目指しています。

また、定住自立圏の形成においては、中心市の意思を表明する中心市宣言にはじまり、関係市町との協議に基づく形成協定の締結、さらには協定事業の実施計画となる共生ビジョンの作成後において、事業の実施が図られます。



4. 室蘭市の中心市宣言

西胆振圏域の中心市である室蘭市は、報告書骨格案に至る関係市町との協議内容を踏まえながら、平成21年12月15日に中心市宣言を行ないました。

(1) 中心市及び連携する市町の状況

【周辺市町から室蘭市への通勤通学比率】

登別市 : 0.392
伊達市 : 0.133
豊浦町 : 0.026
壮瞥町 : 0.029
洞爺湖町 : 0.028

※H17国勢調査より数値算出



(2) 中心市宣言文（抜粋）

西胆振圏域は、室蘭市と隣接する登別市、伊達市、さらに周辺の豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町により構成され、豊かな自然環境を活かした農水産業に加え、登別温泉や洞爺湖温泉など全国でも有数の温泉地があり、1次から3次までの幅広い産業を有する地域であるとともに、縄文遺跡群やアイヌ文化など貴重な歴史・文化資源があります。

昨年は、洞爺湖町を中心に、北海道洞爺湖サミットが開催され、今年は洞爺湖有珠山が世界ジオパークとして国内初の認定を受けるなど、世界的な知名度を有する地域でもあります。

しかし、少子高齢化の進展などによる人口減少や、厳しい財政状況の中で、将来に亘って住民生活を守り、今後においても持続可能なまちづくりを進めていくためには、中心市の都市機能と、周辺市町の地域資源を有効に活用し、地域の魅力を高め、一層の連携と役割分担を図ることで圏域の自立と発展へとつなげることが必要です。

室蘭市は、圏域の歴史や文化、つながりなどを踏まえ、医療や環境、防災など、圏域の暮らしに必要な機能の確保に努めるとともに、周辺市町の豊かな資源や地域性を活用し、互いの連携と共存により、地域全体として発展し、未来に引き継ぐ「ふるさと西いぶり」の形成を目指します。

ここに、中心市としての役割と責務を十分に認識し、西いぶり定住自立圏の中心市となることを宣言します。

(3) 周辺市町と連携を想定する取組（抜粋）

【生活機能の強化に係る政策分野】

① 医療

地域救急医療体制の維持・確保を図るとともに、診療情報等のネットワーク化を促進し地域医療体制の充実を図る。

② 防災

有珠山噴火をはじめ大規模災害時の避難体制の構築を図るとともに、災害医療の充実や、避難場所の確保、生活物資の供給など円滑な避難対応に取り組む。

③ 産業振興

周辺市町の1次産業等の振興に関わる技術開発に取り組むとともに、地域の農水産物を活用した食のブランド化等の農商工連携を促進する。

また、観光拠点の結びつきを強めるとともに、観光客の誘致や受入れ体制整備に向けた人材育成に連携して取り組み、地域における滞在型観光の推進を図る。

④ 環境

再生可能エネルギー・再生素材の研究開発、活用を図るとともに、住民生活における環境意識の向上を促進し、環境問題に関わる連携した取組みの推進を図る。

⑤ 教育

地域資源を活用し、小中学校において幅広い教育を推進するとともに、室蘭工業大学や各種専門学校と連携し地域に必要な人材育成を図る。

【結びつきやネットワークの強化に係る政策分野】

① 地域公共交通

室蘭市と周辺市町を結ぶ民間バスやＪＲ等、地域公共交通の維持・確保を図る。

② デジタル・ディバイドの解消へ向けたＩＣＴインフラ整備

医療機関における診療情報等のネットワーク化や、行政サービス・教育・観光分野等におけるＩＣＴ活用を促進し、地域情報化の推進を図る。

③ 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

周辺市町の農水産物を活用した食育や直売の推進、室蘭市内の店舗等における地元農水産物の利用促進など、地域の農水産物を活用した地産地消の推進を図る。

④ 地域内外の住民との交流・移住促進

情報発信に共同で取り組むとともに、季節移住の受入れや滞在プログラムの提供等に関わる連携を促進し、地域外住民の移住と交流の促進を図る。

【圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野】

① 宣言中心市等における人材の育成と活用

行政機能の多様化、高度化に対応する行政人材の育成を図るとともに、ＮＰＯ等の地域活動人材や民間人材の活用により、圏域マネジメント能力の強化を図る。

② 行政事務の共同実施

室蘭市と周辺市町による行政事務の共同処理により、行政サービスの維持と効率化を図り、圏域におけるマネジメント能力の強化を図る。

5. 定住自立圏形成協定に向けて

(1) 形成協定に向けた連携事業（案）

形成協定の目的は、中心市と周辺市町が1対1の協定締結により連携する分野と、その役割分担を明らかにすることであり、そのためには連携分野における事業内容について協議し合意しておくことが必要です。

室蘭市の中心市宣言で連携を想定した11分野について、検討会議の部会での協議内容等を踏まえ、今後連携可能性を検討する事業（案）をまとめました。

【生活機能の強化に係る政策分野】

医 療

① 救急業務に関する協定締結

重篤な傷病者に対し、市立室蘭総合病院医師が同乗した救急車が出動することについて、関係市町消防と協定を締結する。

② 診療情報のネットワーク化

室蘭市内の医療機関を中心に構成する医師・医療機関間相互連携システムについて、関係市町の医療機関の参加により広域的な診療情報のネットワークを構築する。

③ 医療従事者確保

医育大学と連携しながら、西胆振での就業を条件とした給付型奨学金制度を創設し、圏域における医療人材の早期確保を図る。

【期待される効果】

市立室蘭総合病院との連携により、関係市町では重篤患者の救命率向上が図られ、広域的診療情報のネットワーク化により二重検査の診療時間の短縮など患者の利便性が向上するとともに、奨学金制度により医療従事者の安定的確保が期待されます。

防 災

① 西胆振防災協定の締結

有珠山噴火をはじめとする災害時の応援体制について、医療・物資供給・防災フロントなど、室蘭市の都市機能を活用した防災協定を締結する。

② 災害派遣医療チーム（DMAT）の充実

市立室蘭総合病院の医療従事者による編成される災害派遣医療チーム（DMAT）の充実を図り、広域派遣体制の構築と、災害時に必要となる医療薬品等を確保する。

【期待される効果】

関係市町においては、室蘭市の都市機能を活用した防災体制の構築が可能となり、室蘭市が大型店と締結している物資供給に係る協定内容等を活用することが可能となることで、防災体制の強化が期待されます。

産業振興

① 地域産業関連技術の開発支援

室蘭工業大学や室蘭テクノセンターと連携し、地域産業関連技術の開発支援及び、西胆振農水産物の加工開発・高付加価値化を支援する。

② 産業の担い手育成

1次から3次産業に係る人材誘致と担い手育成を図るため、西胆振の求人企業等と求職者のマッチングを行う「西胆振適職フェア」を札幌等の都市部において開催する。

③ 起業支援

起業家を支援する中間支援組織等を設立し、経営ノウハウや資金調達等の支援を行うことで、新規事業の担い手を育成する。

＊観光圏整備計画との整合性を図り、観光分野での連携事業の位置付けも検討します。



[期待される効果]

関係市町においては、室蘭市の研究開発施設と連携した技術開発等が可能となり、市町単独では難しい都市部での面接会の開催や起業支援により、新たな担い手育成が期待されます。

環境

① 西胆振環境家計簿の作成

小中学生・一般・企業等を対象に、西胆振各市町が共通で利用できる環境家計簿を作成し、環境意識向上に連携して取り組む。

② 広域連携による廃家電の処理

室蘭市内の廃家電処理業者と、関係市町の電気店等との収集ネットワークを構築し、廃家電の不法投棄を防止する。

③ 木質ペレットの利用促進

伊達市で生産される木質ペレットについて、公共施設における活用を検討するとともに、民間住宅等での活用に係る普及啓発活動を行う。

④ 企業の省エネ推進

室蘭工業大学や室蘭テクノセンターと連携しながら省エネ診断等を推進し、企業の省エネに対する取り組みを支援する。

⑤ カーボンフットプリントの普及促進

室蘭工業大学や室蘭テクノセンターと連携しながら、加工食品等の消費拡大に向けたカーボン・フットプリントの普及促進を図る。

⑥ カーボンオフセット協定の締結

林業振興に取り組む関係市町と室蘭市内の企業及び、道内外との企業との連携により、温室効果ガスの削減に向けたカーボン・オフセット協定を締結する。



[期待される効果]

圏域が一体となった取り組みにより、住民の環境意識の向上や地域資源を活用した温室効果ガスの削減が図られるほか、室蘭市の研究開発施設と連携した企業の省エネ促進、加工食品等の消費拡大が期待されます。

＊カーボンフットプリント：ライフサイクル全体で排出されるCO₂量を表示する仕組み

＊カーボンオフセット：自らの温室効果ガス排出量を他の削減量購入等で埋合せること

教 育

① 理科教育の充実

室蘭工業大学等との連携による出前講座の実施や、理科支援員の配置、イベントでの科学実験等の実施により、関係市町における理科教育の充実を図る。

② 総合教育の充実

各市町の地域資源を活用した学習・体験メニューについて、西胆振の総合学習リストを作成し、広域的な総合学習活動の展開を図る。

③ 広域的な生涯学習の推進

ジオパークや縄文遺跡、食等の地域資源を活用した、「西胆振マイスター」を認証することにより、広域的な生涯学習の推進を図る。

[期待される効果]

室蘭工業大学等の専門的知識を活かした関係市町の理科教育の充実や、西胆振の地域資源を活用した広域的な総合教育の展開が図られるとともに、生涯学習の推進に合わせ、室蘭市の人材を活用した観光ガイド等の育成も期待されます。

【結びつきやネットワークの強化に係る政策分野】

地域公共交通

① 地域密着型交通機能の整備

利用者の要求により最寄のバス停まで送迎するデマンドバスや、車椅子専用タクシー・寝台専用タクシーなど地域住民に密着した交通機能を整備する。

[期待される効果]

路線バスよりも安価に地域住民の移動手段が確保されるとともに、公共交通の利用が困難な住民の移動手段確保も期待されます。

デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

① 図書館情報システムの広域化

室蘭市・伊達市で共同運用している図書館情報システムについて、他市町への拡充を行なうとともに、室蘭工業大学図書館との連携を図る。

② メール配信システムの広域化

室蘭市・伊達市で共同運用しているメール配信システムについて、他市町への拡充を行なうとともに、イベント・観光情報等の配信内容の充実を図る。

③ 直売所へのPOSシステムの導入

農産物直売所等に、出品者別・出品物別売上げ情報を即座に集計するPOSシステムを導入する。

[期待される効果]

参加市町においては、図書館利用率の向上が見込まれるほか、防災情報伝達の円滑化や観光客の利便性向上、直売所の売上げ増加などが期待されます。

地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

① 地域資源を活用した食育推進

室蘭市学校給食センターにおいて、西胆振農水産物の活用や地元食材を活かしたメニューの提供を行なう。

② 道の駅の活用による地産地消促進

室蘭市の道の駅を活用し西胆振農水産物の販売を行なうとともに、各市町の道の駅が連携し地産地消の促進を図る。

③ 西胆振オーナー制度

各市町の特産品を組み合わせた「西胆振オーナー制度」を創設し、圏域内外の参加者に季節ごとに届けることで、西胆振農水産物の消費拡大を図る。

④ 西胆振農水産物の消費拡大運動の展開

毎月24日を「西胆振の日」として制定し、室蘭市内店舗等における西胆振物産のセール等を行なうことで、地元農水産物の消費拡大を図る。

[期待される効果]

西胆振農水産物の消費拡大が図られるとともに、地元特産物を通じた圏域内外の住民との交流促進が期待されます。

地域内外の住民との交流・移住促進

① 移住情報の共同発信

各市町の移住ホームページにおいて、他市町ページへのリンク設定を行なうとともに、問合せ等に対する市町間の連携を深め、西胆振としての情報発信を強化する。

＊観光圏整備計画等との整合性を図り、交流に係る連携事業の位置付けも検討します。

[期待される効果]

西胆振としての移住情報の発信が促進されるとともに、交流に係る各市町の連携した取り組みにより、圏域内外の住民との交流促進が期待されます。

【圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野】

宣言中心市等における人材の育成と活用

① 合同職員研修

中心市と関係市町が合同で職務・行政事務等に係る職員研修を実施するとともに、室蘭工業大学と連携しながら政策形成能力の向上に向けた人材育成を図る。

[期待される効果]

税務・法務等の専門業務に係る合同研修の実施により、各市町における行政能力の向上が図られるとともに、室蘭工業大学との連携により地域の知的資源を活用した人材育成が期待されます。

行政事務の共同実施

① 行政機関の共同設置

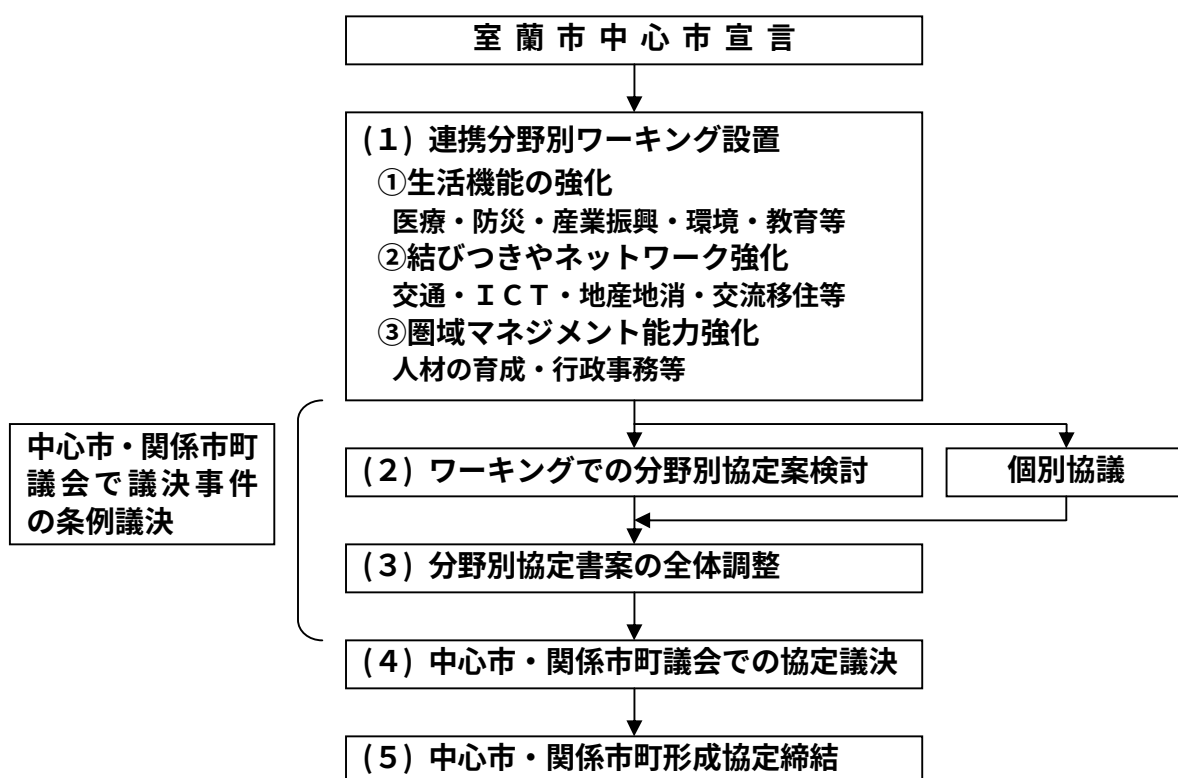
消費者相談窓口や、介護認定審査会・個人情報保護審査会などの行政機関を共同で設置する。

[期待される効果]

関係市町との共同実施により行政事務の効率化が期待されます。

(2) 形成協定締結までの協議過程 (案)

中心市と周辺市町が1対1で締結する形成協定は、事前に議会の議決を要するものであり、連携分野が多岐に渡ることから、下記の協議過程が必要と考えられます。



(3) 圏域の将来像 (案)

圏域の将来像は、今後、様々な協議を重ねながら形づくりのものです。中心市宣言における連携の考え方や想定される事業などから、次のような将来像が考えられます。

豊かな海・山・湖と、先人の歴史に囲まれ
人・物・文化が行き交いながら
暮らしの安全と多彩な人材
多様な産業と環境が調和した地域を育み
ひとつひとつのまちの光が圏域として輝き
未来に引き継ぐ「西いぶり定住自立圏」

【発行】西いぶり広域連合

〒050-0051 室蘭市石川町 22 番地 2 電話：0143-59-0705 FAX：0143-59-7005